

令和 2 年度 第 1 回村上市森づくり基本計画策定委員会

村上市の森林及び林業の概要について

令和 2 年 11 月

1. 村上市の森林及び林業の概要

1.1 村上市の森林資源の概要

- ・村上市の総面積は 117,426ha、そのうち森林面積は 99,994ha で **85.2%の林野率**となっている。
- ・村上市内の民有林は 53,210ha で市森林面積の 53.2%を占め、その蓄積は 13,445 千m³となっている。
- ・民有林の保安林面積は約 16,575ha と民有林保安林率は 31.2%となっている。
- ・村上市の民有林を林種別にみると、**約 61.3%は広葉樹を中心とした天然林**である。**人工林は全体の約 35.0%で主にスギ林**となっている。
- ・民有林の人工林面積は 18,556ha、人工林率は約 35%に達し、**県平均の 24.9%を大きく上回っている**。
- ・地区別の森林面積：**村上市で最も民有林面積が大きいのは山北地区の約 23,128ha で村上市の森林面積全体の 43.5%を占めている**。続いて朝日地区が約 37%、村上地区が約 13%を占めており、荒川地区は 0.3%と民有林の面積は小規模である。
- ・村上市の民有林の林齢構成別面積をみると全体的には 61-70 年生が突出しており、全体の 27.7%を占めている。これは広葉樹を主体とする天然林の 61-70 年生に起因している。
- ・**スギを主体とする人工林は 51-60 年生が 4,630.6ha と最も多く占めており、人工林資源は「整備する段階」から「利用する段階」に入っている**。(村上市森林整備計画におけるスギ標準伐期齢は 45 年)。
- ・村上市内の林相は地区ごとに特徴が異なるため、各地区の森林の状況に応じた取り組みが必要である。

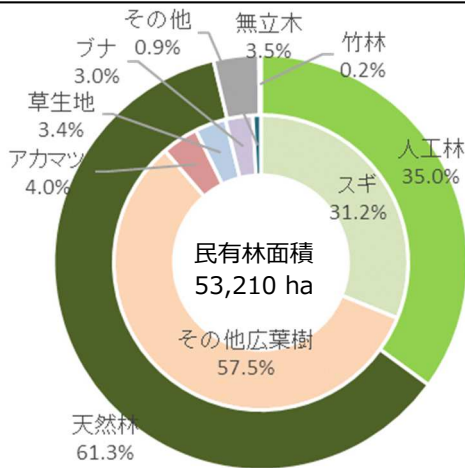


図 1-1 民有林の林種・樹種別の面積割

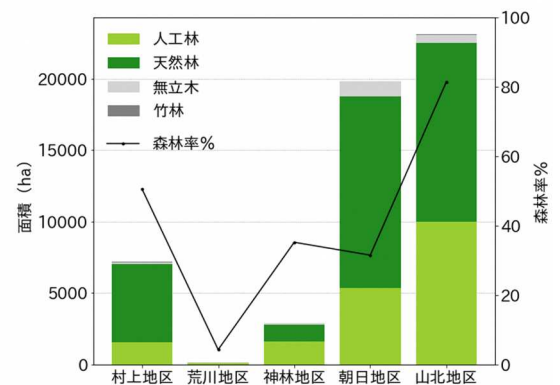


図 1-2 民有林の地区別の森林面積

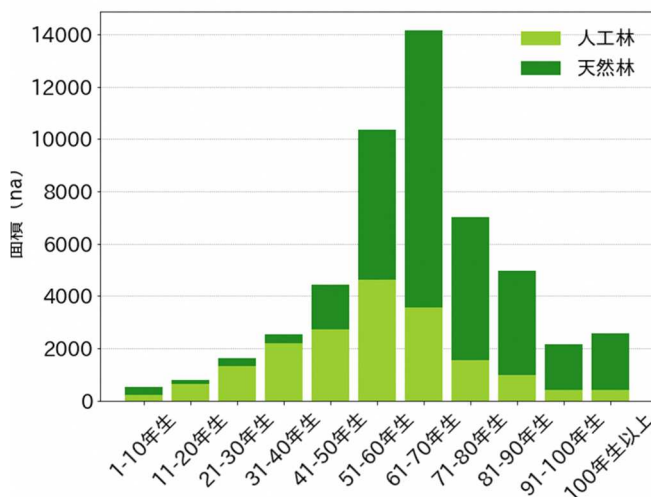


図 1-3 村上市における林齢構成別の森林面積

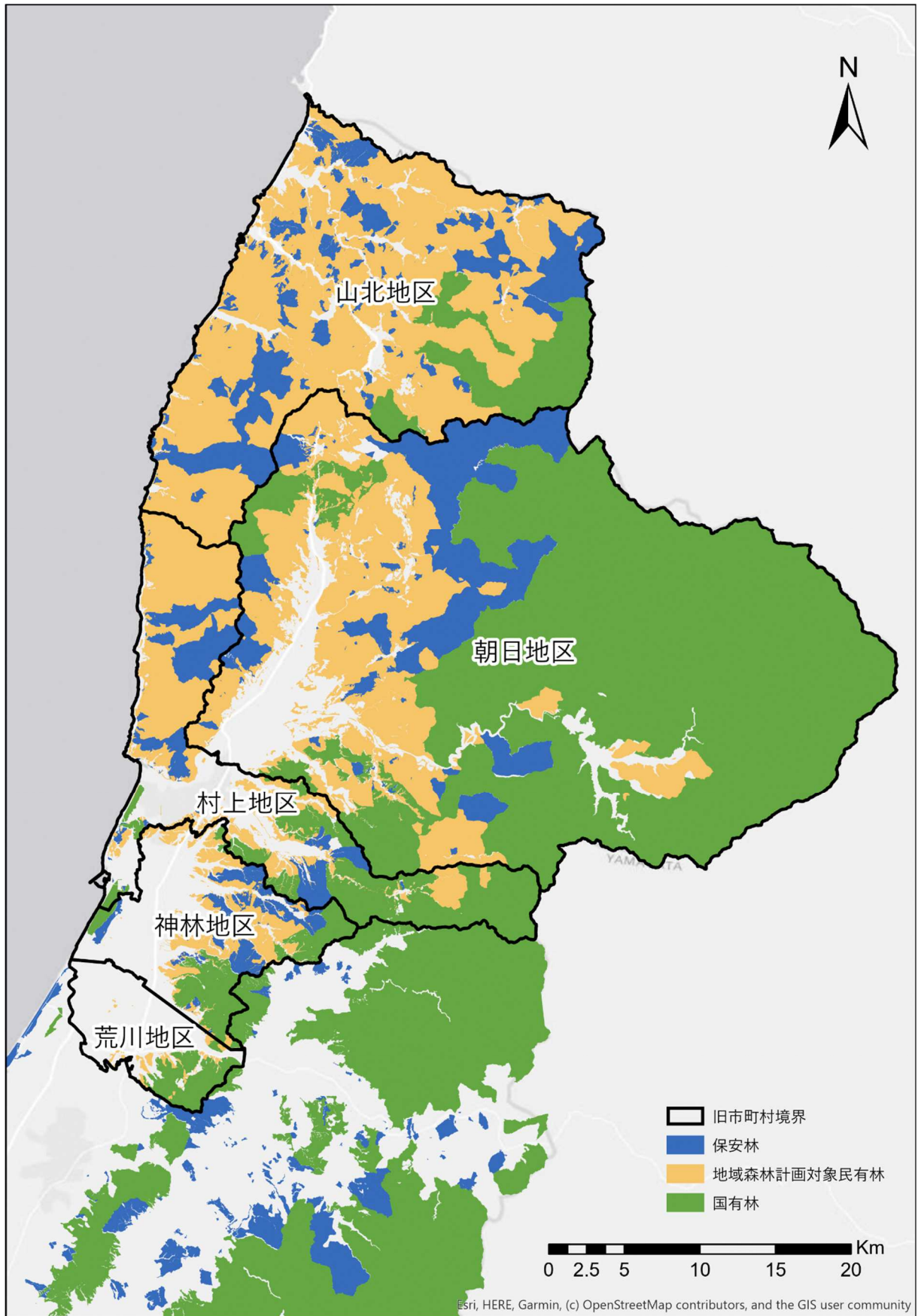


図 1-4 村上市における森林の分布

1.2 地区別の森林概況

(1) 山北地区

- ・山北地区の森林面積：約 23,128ha であり、これは村上市の森林面積の約 43.5% で市の中で最も大きい。
- ・天然林と人工林の比率：天然林が約 12,511ha で全体の 54.1% であるのに対し、スギを主体とした人工林は約 10,012ha で、全体の約 43.3% を占めている。
- ・林齢構成別の森林面積：天然林は 61-70 年生が約 3,670ha と広く分布している。一方で人工林は 51-60 年生の約 2,393ha をピークとしたなだらかな山型の分布である。

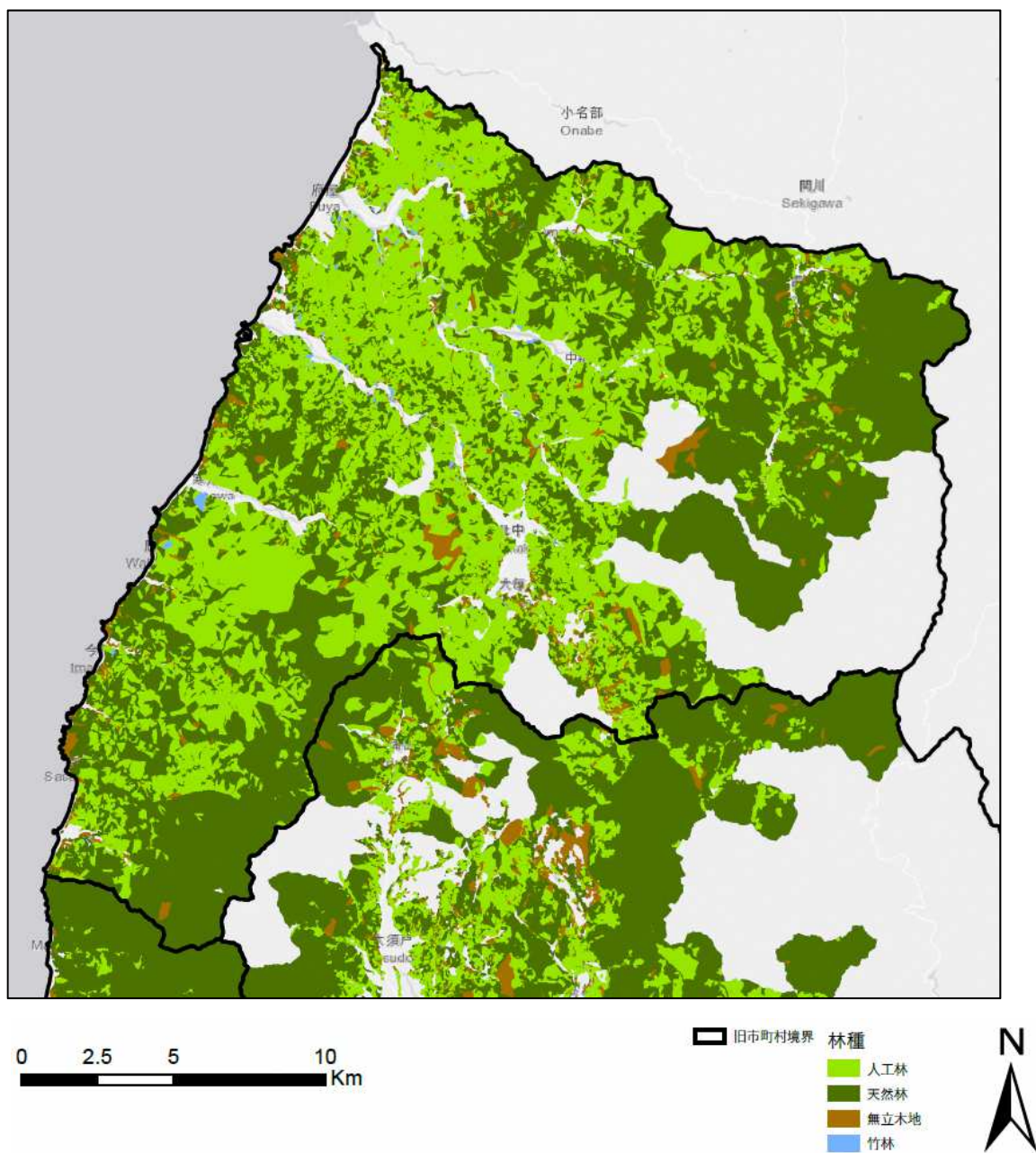


図 1-5 林種区分図（山北地区）

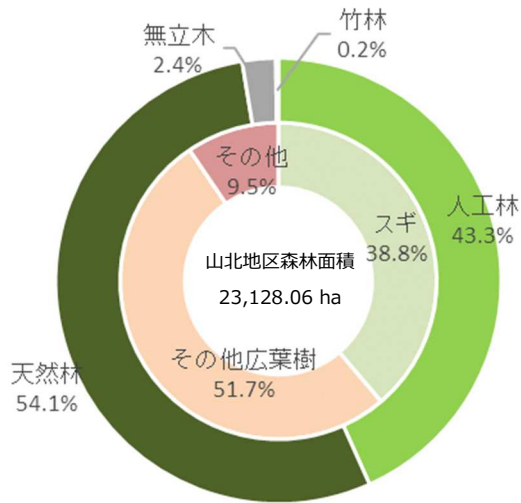


図 1-6 林種・樹種別の面積割合

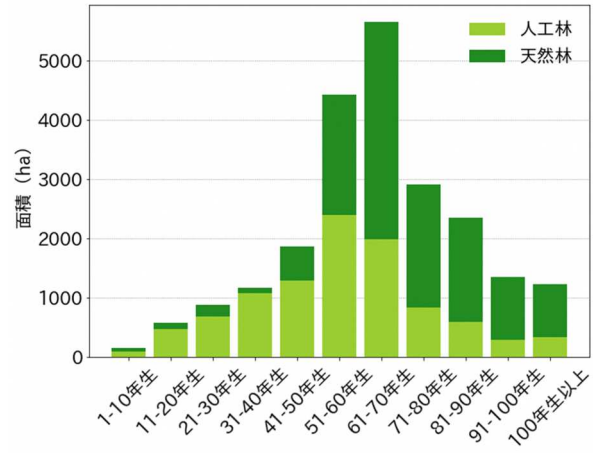


図 1-7 林齢構成別の森林面積

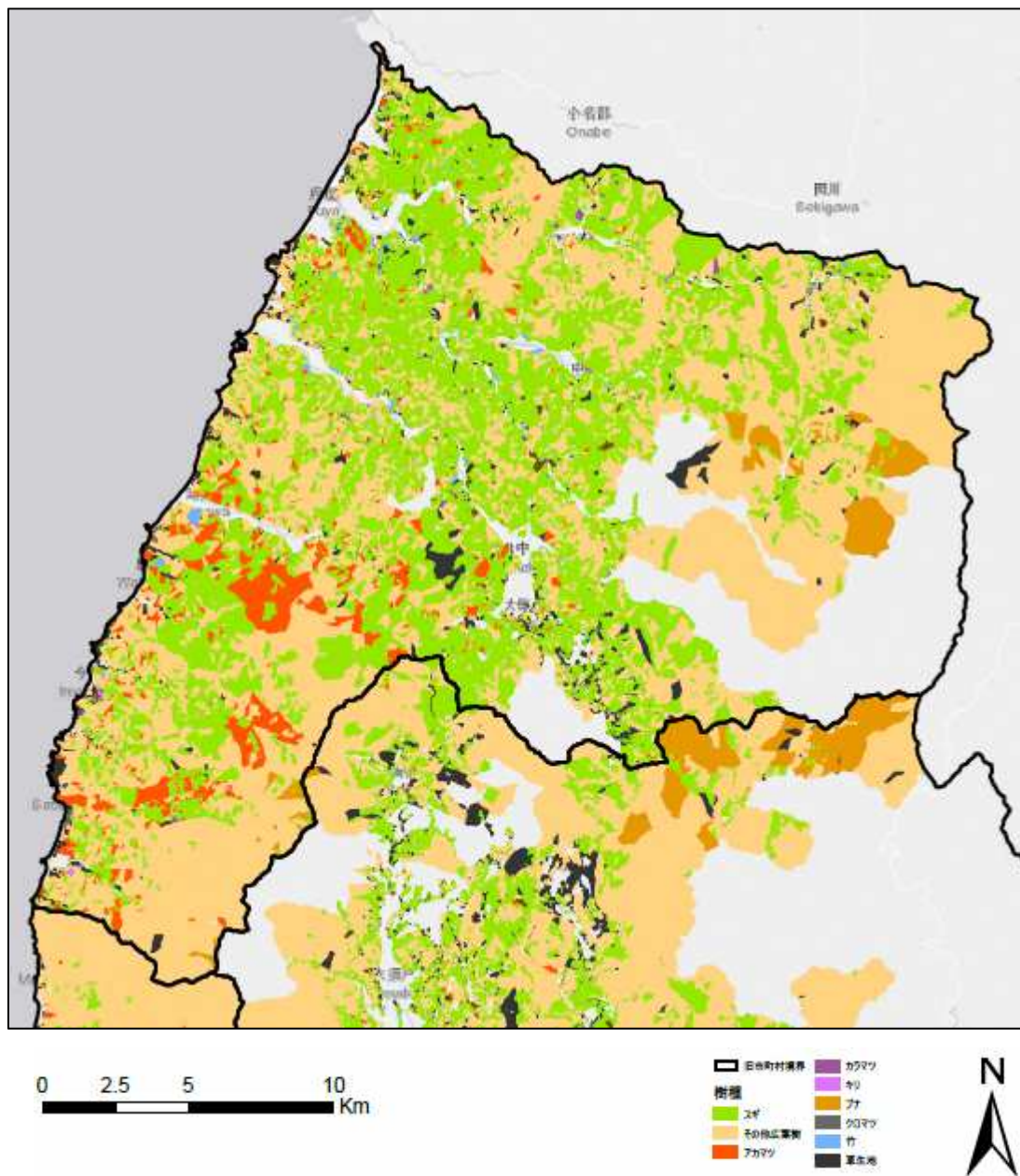


図 1-8 樹種区分図 (山北地区)

(2) 朝日地区

- ・朝日地区の森林面積：約 19,844ha であり、これは村上市の森林面積の約 37.3%に相当する。
- ・天然林と人工林の比率：天然林が約 13,432ha で全体の 67.7%であるのに対し、スギを主体とした人工林は約 5,338.ha で全体の約 26.9%を占めている。
- ・林齢構成別の森林面積：天然林は 61-70 年生が約 4,138ha と大きい。100 年生以上の天然林が 1,000ha を超えて分布しているのも特徴的である。一方で人工林は 51-60 年生の約 1,325ha をピークとした山型の分布となっている。41-50 年生、61-70 年生の人工林はそれぞれ 900ha を越しており、人工林では 41-70 年生が 60.5%を占める。

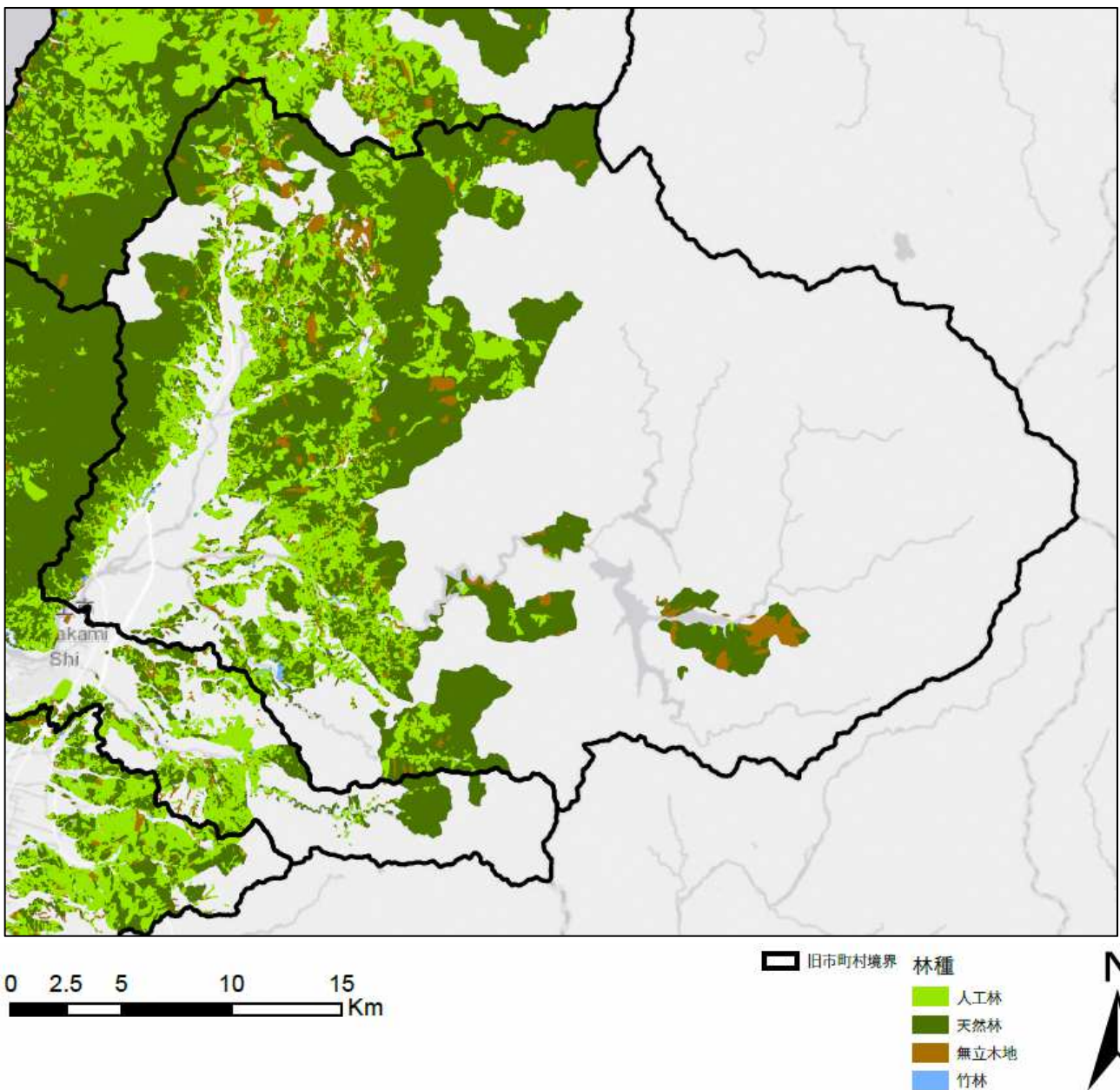


図 1-9 林種区分図（朝日地区）

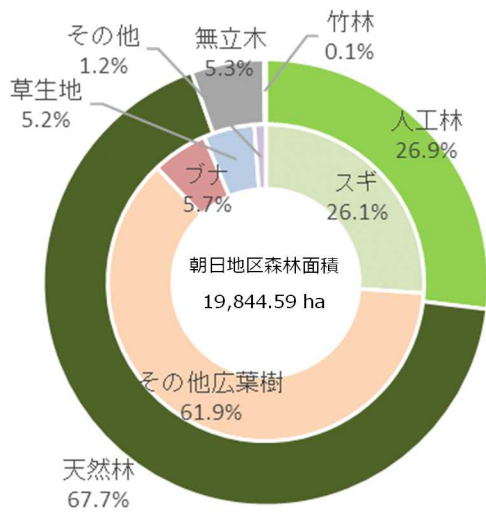


図 1-10 林種・樹種別の面積割合

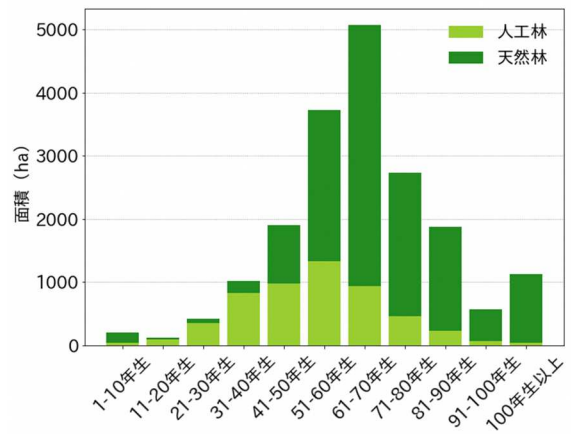


図 1-11 林齢構成別の森林面積

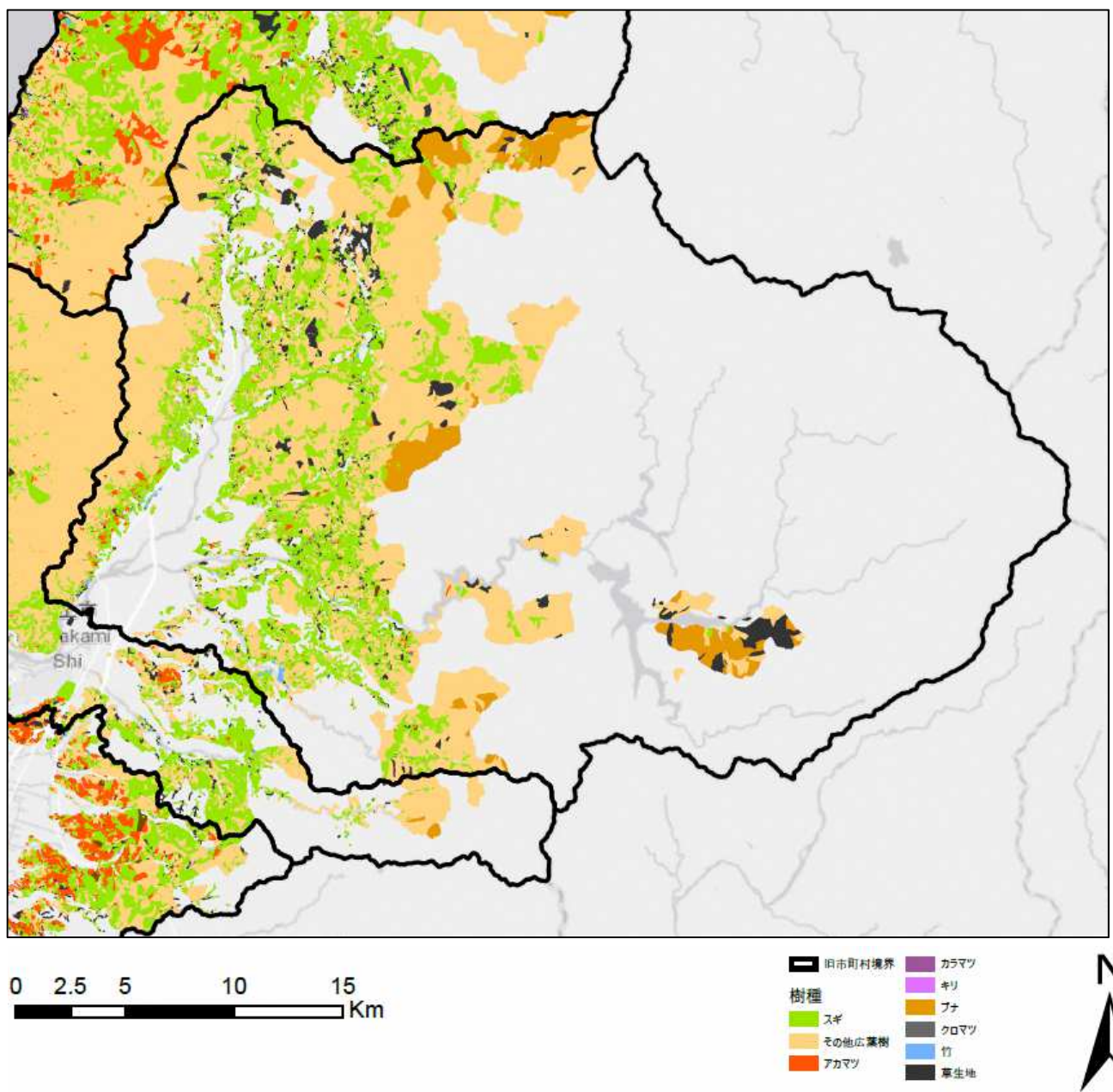
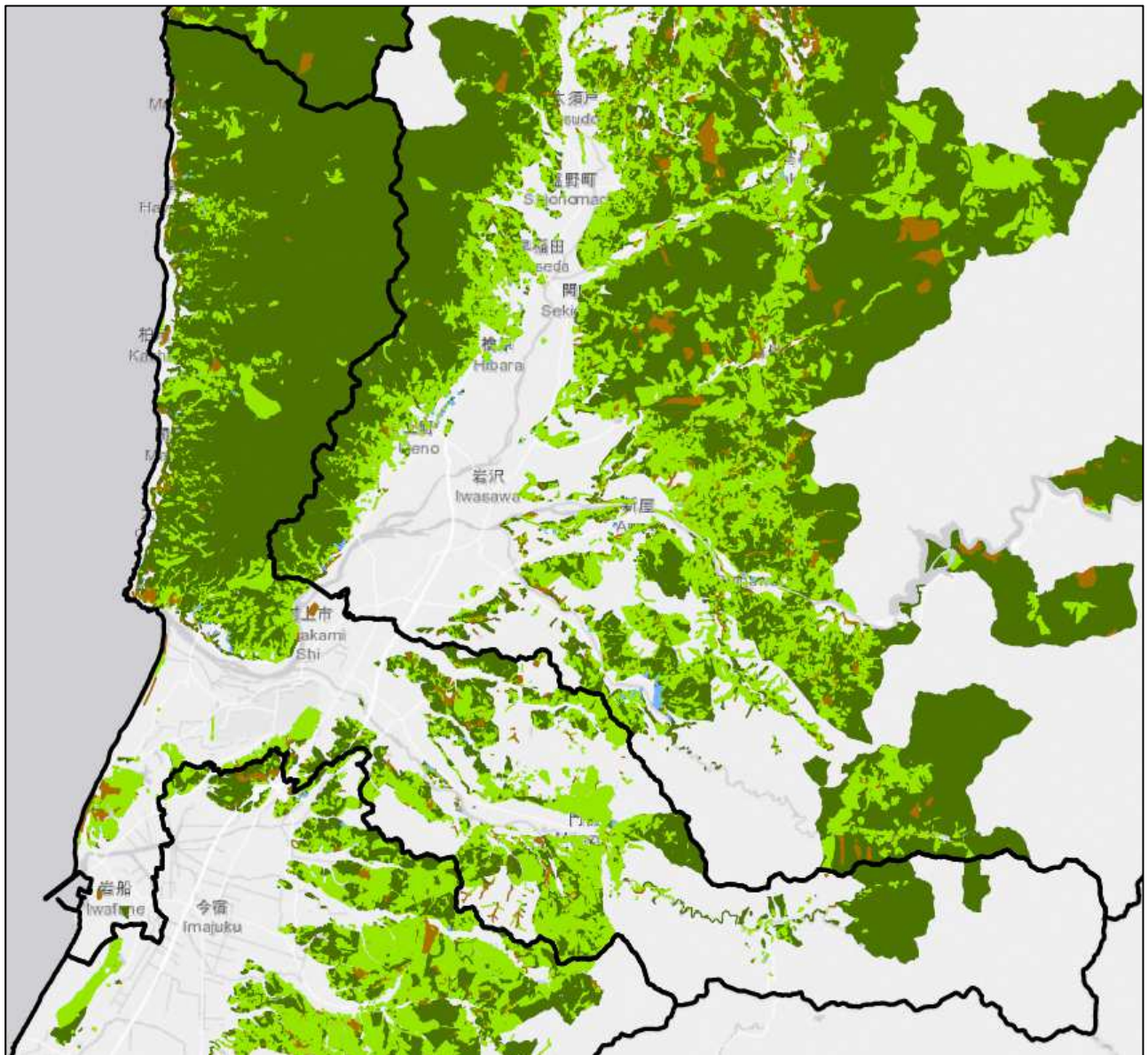


図 1-12 樹種区分図 (朝日地区)

(3) 村上地区

- ・村上地区の森林面積：約 7,182ha で村上市の森林面積の約 13.5%である。
- ・天然林と人工林の比率：天然林が 5,440.3ha で全体の 75.7%と大半を占め、スギを主体とした人工林は 1,590.9ha で 22.2%となっている。
- ・林齢構成別の森林面積：天然林は 61-70 年生が約 2339ha と突出して大きな分布を示す。一方で人工林は 51-60 年生が約 487ha でピークとなり、緩やかな山型の分布を示している。



0 2.5 5 10 Km

旧市町村境界 林種
人工林
天然林
無立木地
竹林



図 1-13 林種区分図（村上地区）

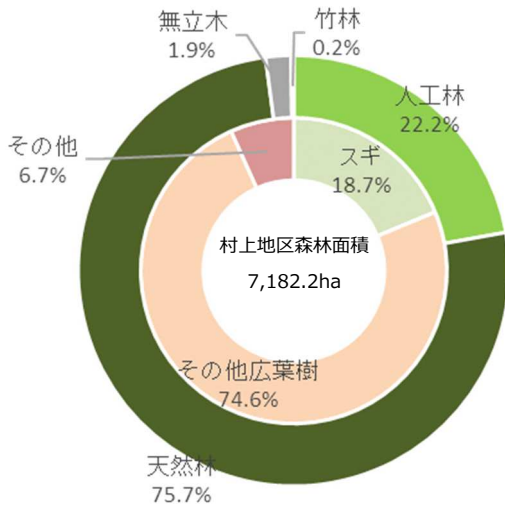


図 1-14 林種・樹種別の面積割合

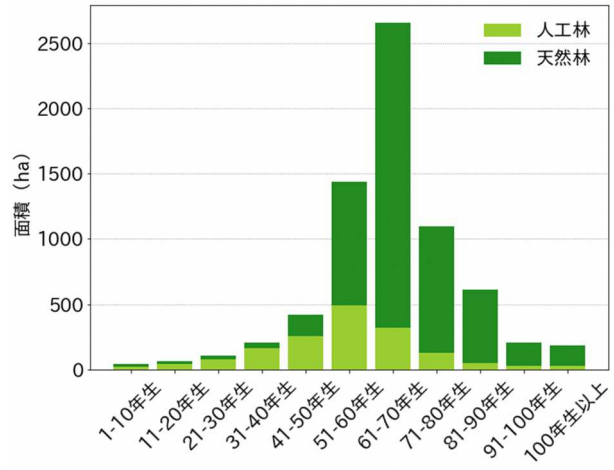


図 1-15 林齢構成別の森林面積

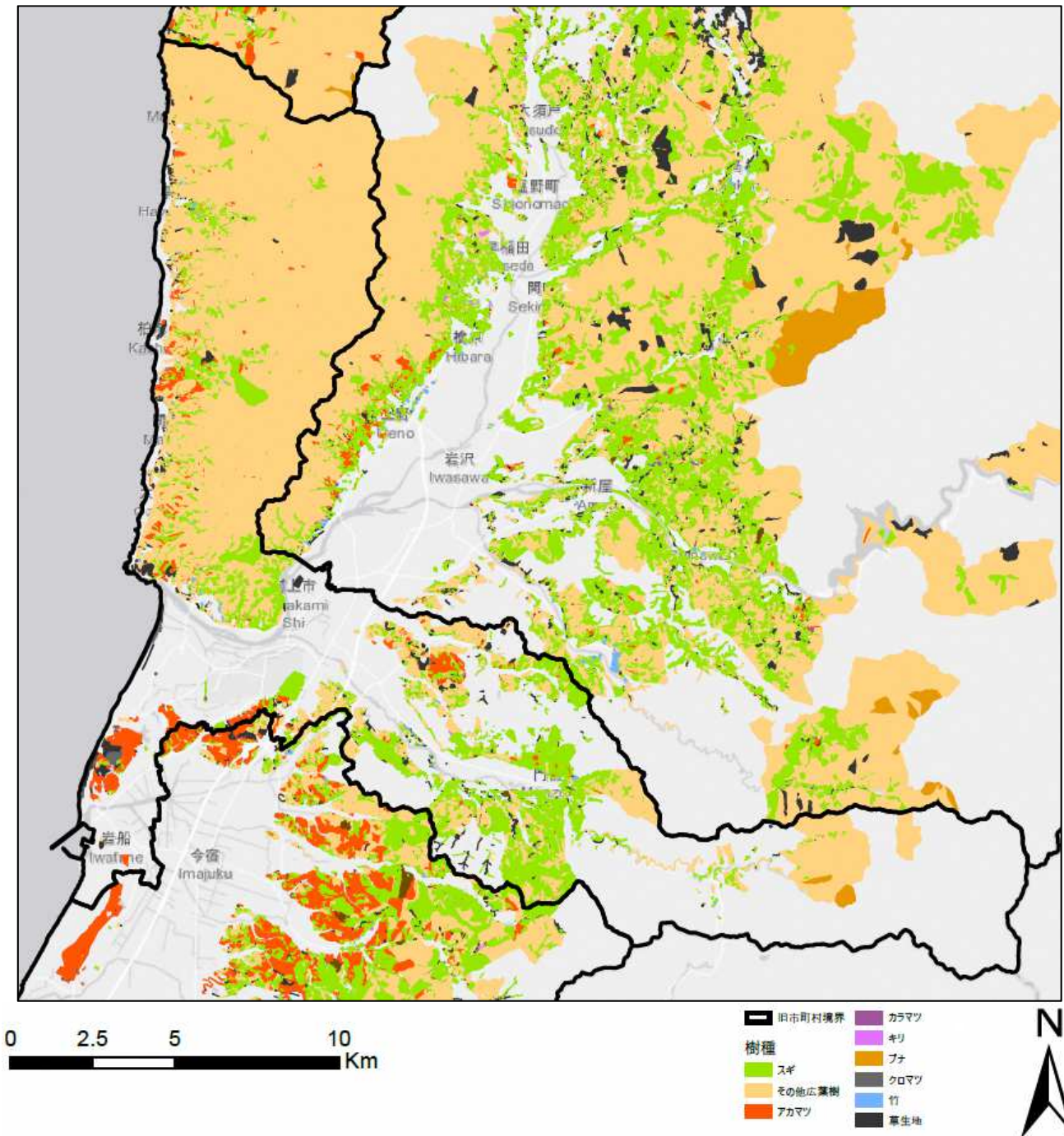


図 1-16 樹種区分図 (村上地区)

(4) 神林地区

- ・ 神林地区の森林面積：約 2,896.42 ha で村上市森林面積の約 5.5%である。
- ・ 天然林と人工林の比率：天然林が 1,171.8 ha で全体の 40.5%であるのに対し、スギやアカマツを主体とした人工林は約 1,615ha で、全体の約 55.8%を占めている。
- ・ 林齢構成別の森林面積：天然林は 61-70 年生が約 433ha で最も多い分布となる。一方で人工林は 51-60 年生の約 412ha をピークとしたおおむね山型の分布となっている。71-80 年生以上はなだらかに減少していくのに対し 1~50 年生は面積の分布にばらつきがある。

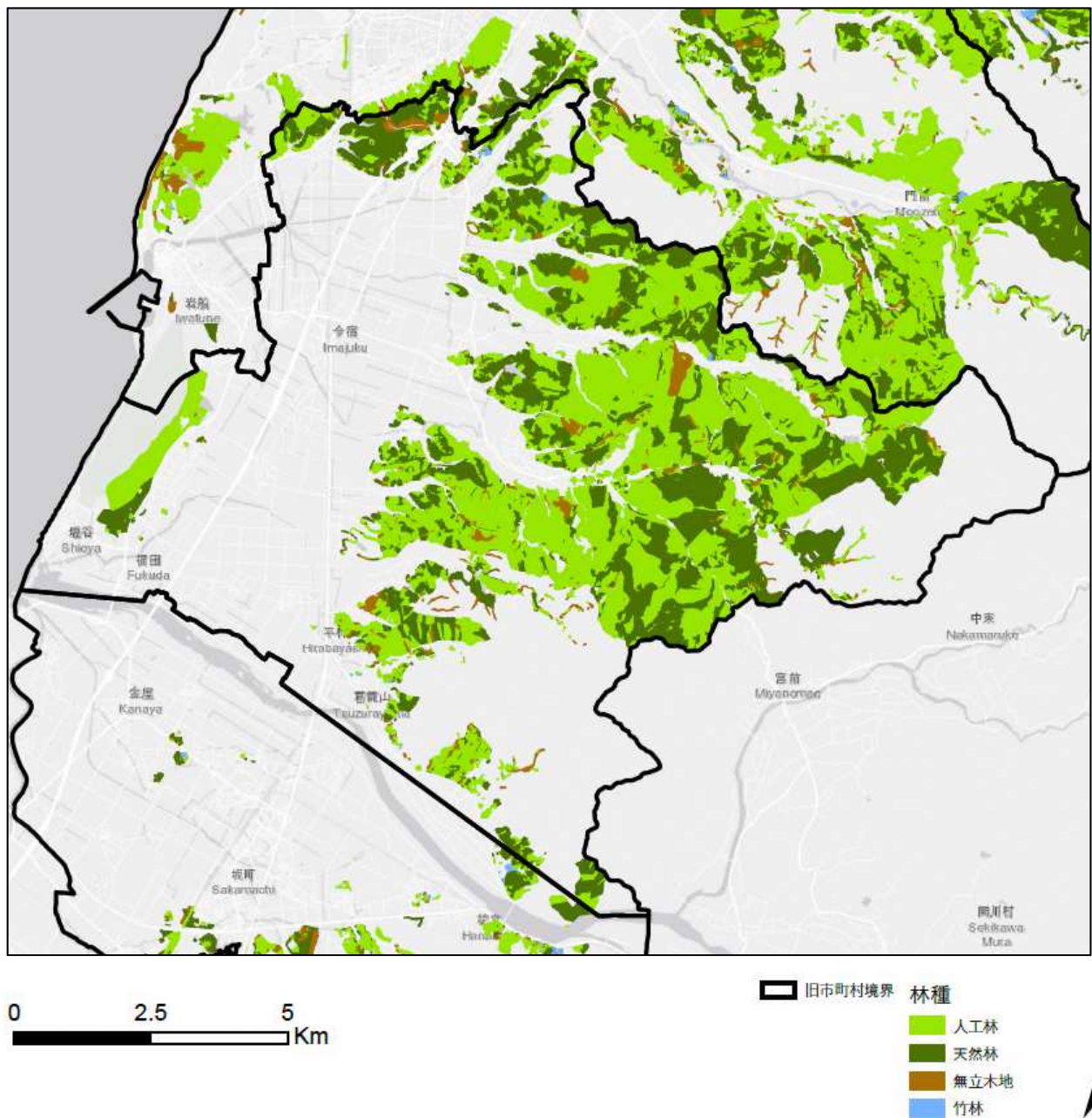


図 1-17 林種区分図（神林地区）

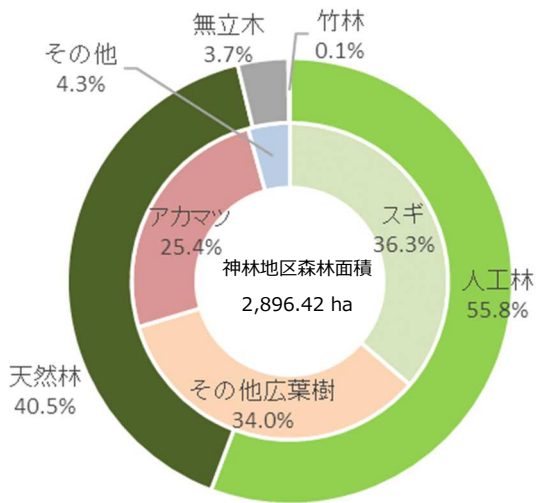


図 1-18 林種・樹種別の面積割合

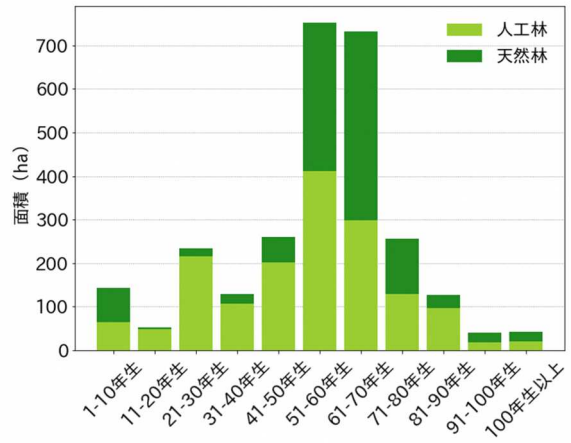


図 1-19 林齢構成別の森林面積

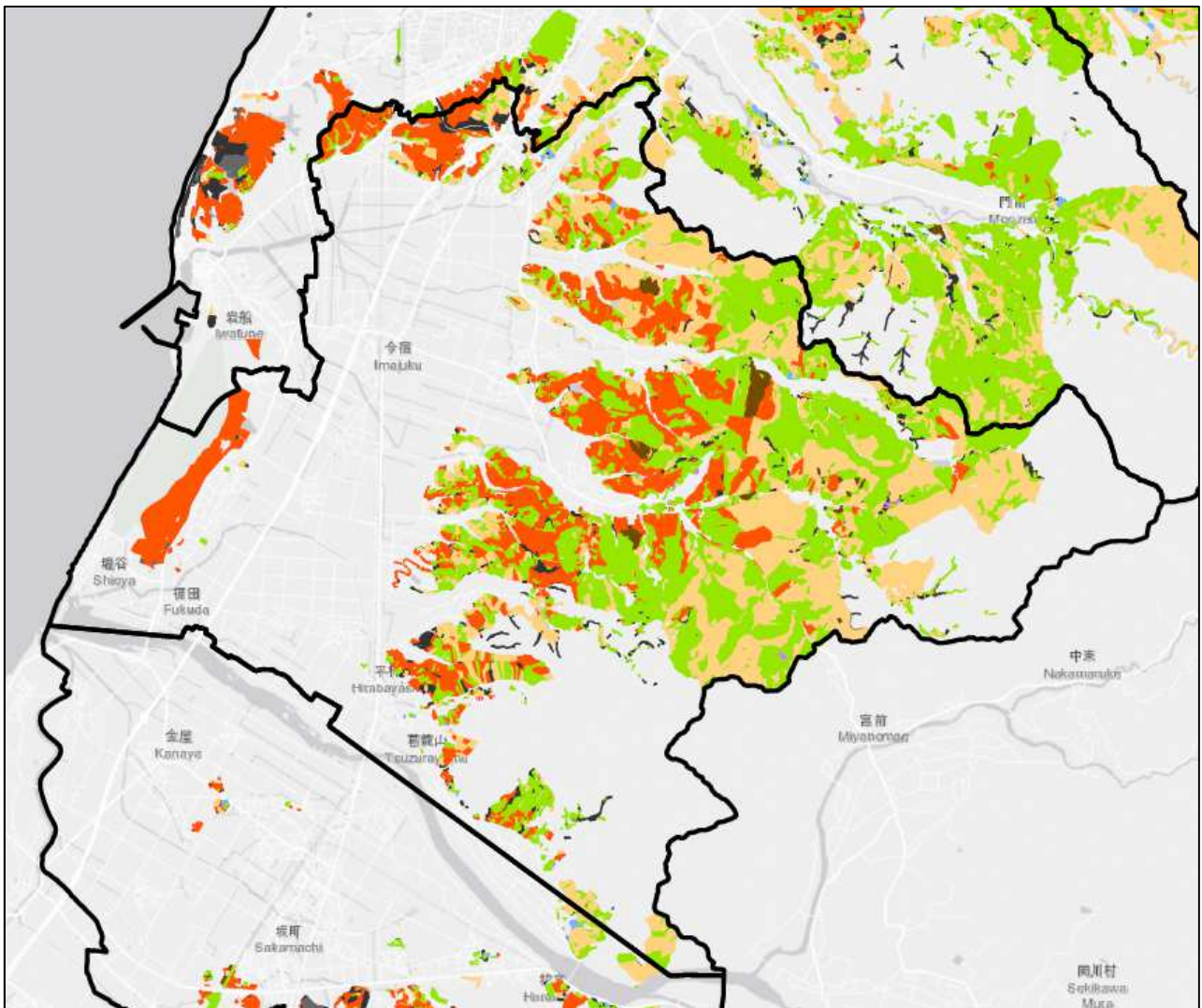


図 1-20 樹種区分図 (神林地区)

(5) 荒川地区

- ・荒川地区の森林面積:約 158ha で村上市森林面積の約 0.29%であり、最も森林の少ない地区である。
- ・天然林と人工林の比率:スギやアカマツ等の人工林が 85.3ha で全体の 53.9%と半数を越えている。一方、天然林は 47.7ha で森林全体の 30.1%を占めている。
- ・林齢構成別の森林面積:天然林は 61-70 年生が 22.9ha を占めている。一方で人工林については、51-60 年生が 19.64ha でピークとなる。比較的若年生林の割合が高く、特に 1-10 年生は 8.52ha を占め 11-50 年生よりも割合が大きい。

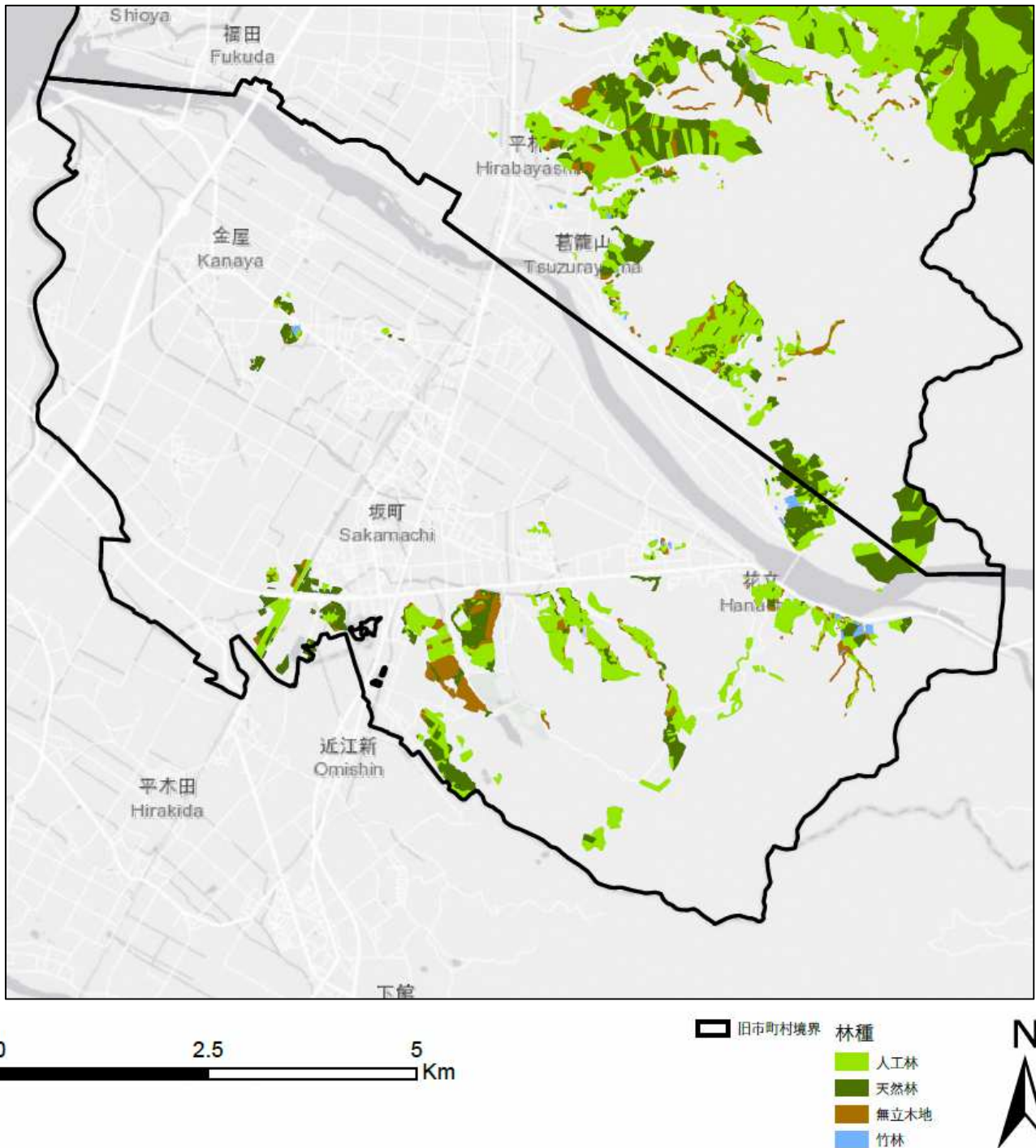


図 1-21 林種区分図 (荒川地区)

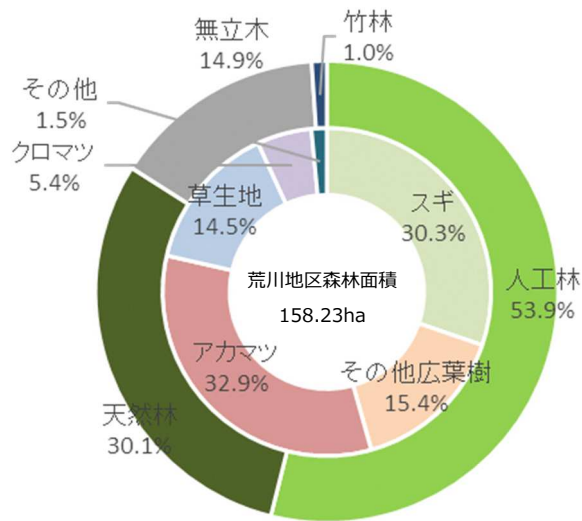


図 1-22 林種・樹種別の面積割合

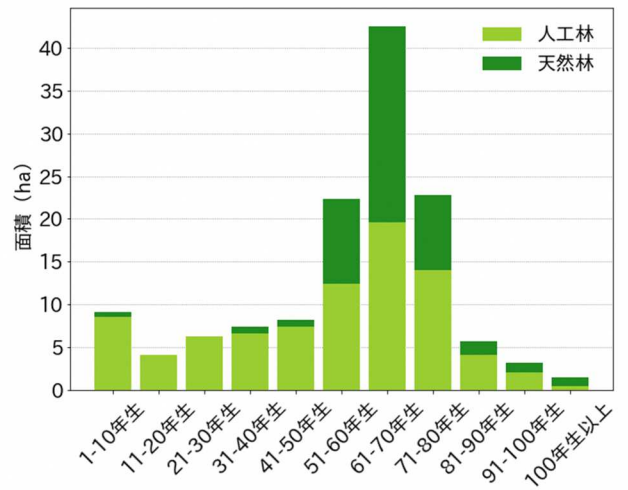


図 1-23 林齢構成別の森林面積

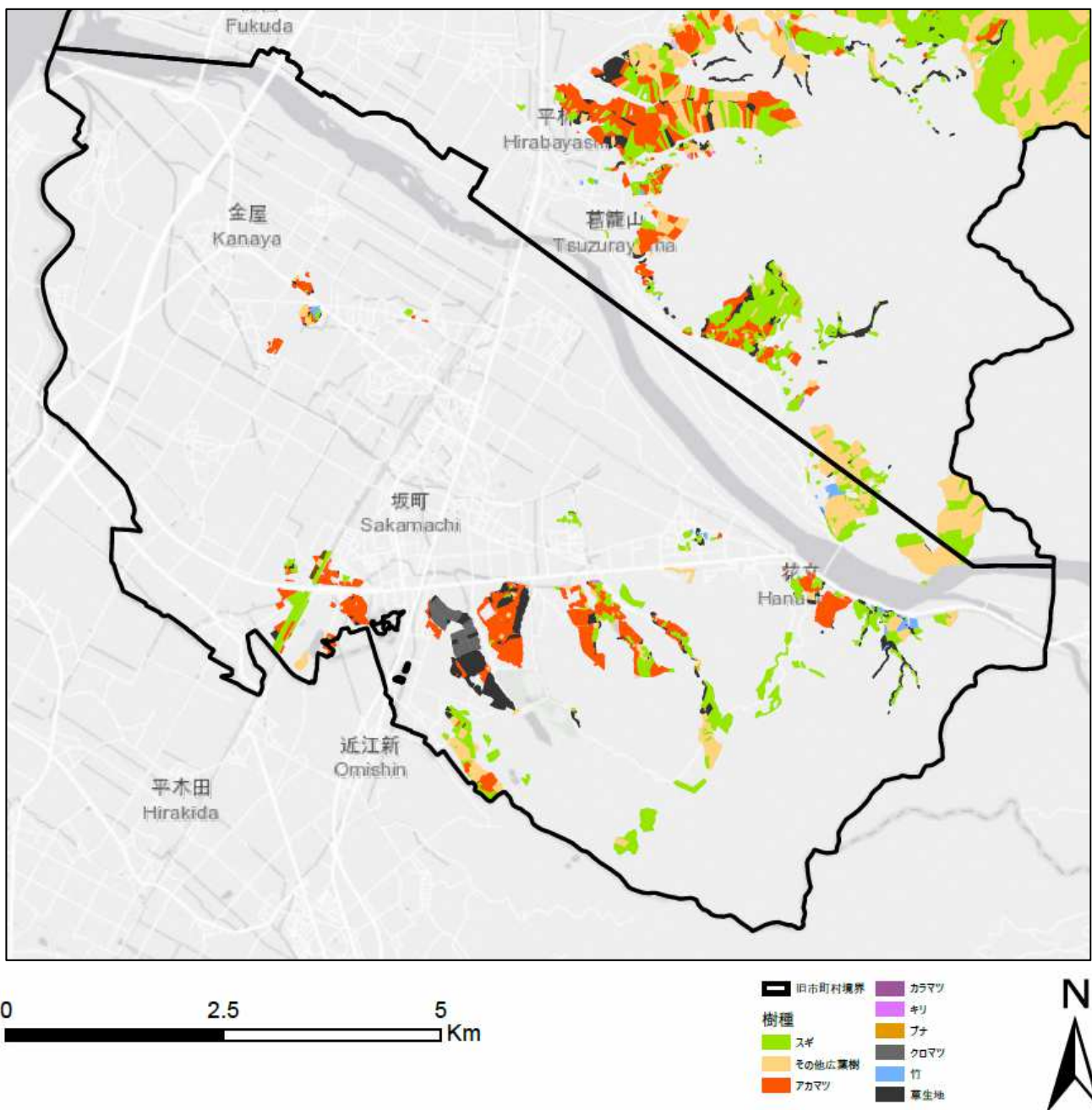


図 1-24 樹種区分図 (荒川地区)

1.3 村上市の林業の概要と問題点・課題について

- ・村上市における平成 30 年次の素材生産量^{※1}は 60,084m³ で県全体の 34.3%を占め県内有数の木材生産地である。
- ・村上市内の森林は、戦後や高度成長期に植栽されたスギなどの人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期となっており、スギ材の利活用が課題となっている。
- ・村上市の民有林では、森林経営計画を作成し、所有者自らが整備を進めている森林は約 4 割（全国：3 割）を占めており、計画的な森林の整備が進められているが、長期的な林業の低迷や森林所有者の世代交代等により森林所有者の森林への関心が薄れ、適切に管理されていない人工林も多く、伐採後に植林されないことなどが問題となっている。
- ・村上市における森林の保有状況は、5ha 規模未満の所有者が 69.9%を占め、5～20ha 規模の所有者が 21.0%、20ha 以上の所有者は 9.2%と比較的小規模の森林所有者が多い。個々の森林所有者が単独で効率的な施業を実施することは難しいため、集約化施業の推進、高性能林業機械の導入、路網整備等による効率的な森林整備を推進することによって林業の採算性向上を図ることが必要と考えられる。
- ・施業の集約化を進めるためには前提として森林境界の明確化作業の進捗が必要だが、森林所有者の世代交代などにより森林経営への意欲が低下する中、所有者不明森林や林地の境界が不明確な森林が増加し、森林整備に支障をきたしている。境界が不明確であったり正確な森林資源量の把握に時間がかかる場合には、空中写真の取得・加工、航空レーザ計測等に基づく高精度の森林資源情報の整理など、森林情報の高度化を推進することにより、取り組みの加速化を図ることも課題と考えられる。
- ・村上市内には森林整備事業等を実施する認定事業体^{※2}として 2 つの森林組合（村上市森林組合、いわふね森林組合）、7 認定事業体があり、造林、保育、林産などの地域林業の担い手として大きな役割を果たしているが、就業者の高齢化が進むとともに、新規就業者の確保、通年雇用化の促進、就業環境の改善等が課題となっている。
- ・村上市内には 13 社の製材工場があり、地元産材を供給する重要な役割を果たしている。近年ではスギ人工林の高齢級化に伴い、大径材の有効活用が課題となってきた。
- ・村上市の海岸松林においては、「松くい虫被害」と呼ばれる松を枯死させる森林病虫害被害が問題となっており、航空機を用いた薬剤散布による「予防」や、枯損木を除去（伐倒）する「駆除」といった防除事業が実施されている。また、クマ剥ぎ（主にスギの樹皮をツキノワグマが剥がす被害）等の獣害の深刻化も懸念されており、木材生産上の問題の一つとなっている。

※1 山林の立木を素材（丸太）のまま市場へ運び出した体積。

※2 林業労働力の確保の促進に関する法律（平成 8 年 5 月 24 日法律第 45 号）第 5 条第 1 項の認定を受けた事業者のこと。具体的には雇用や事業の改善計画を作成し、知事の認定を受けた林業事業者。

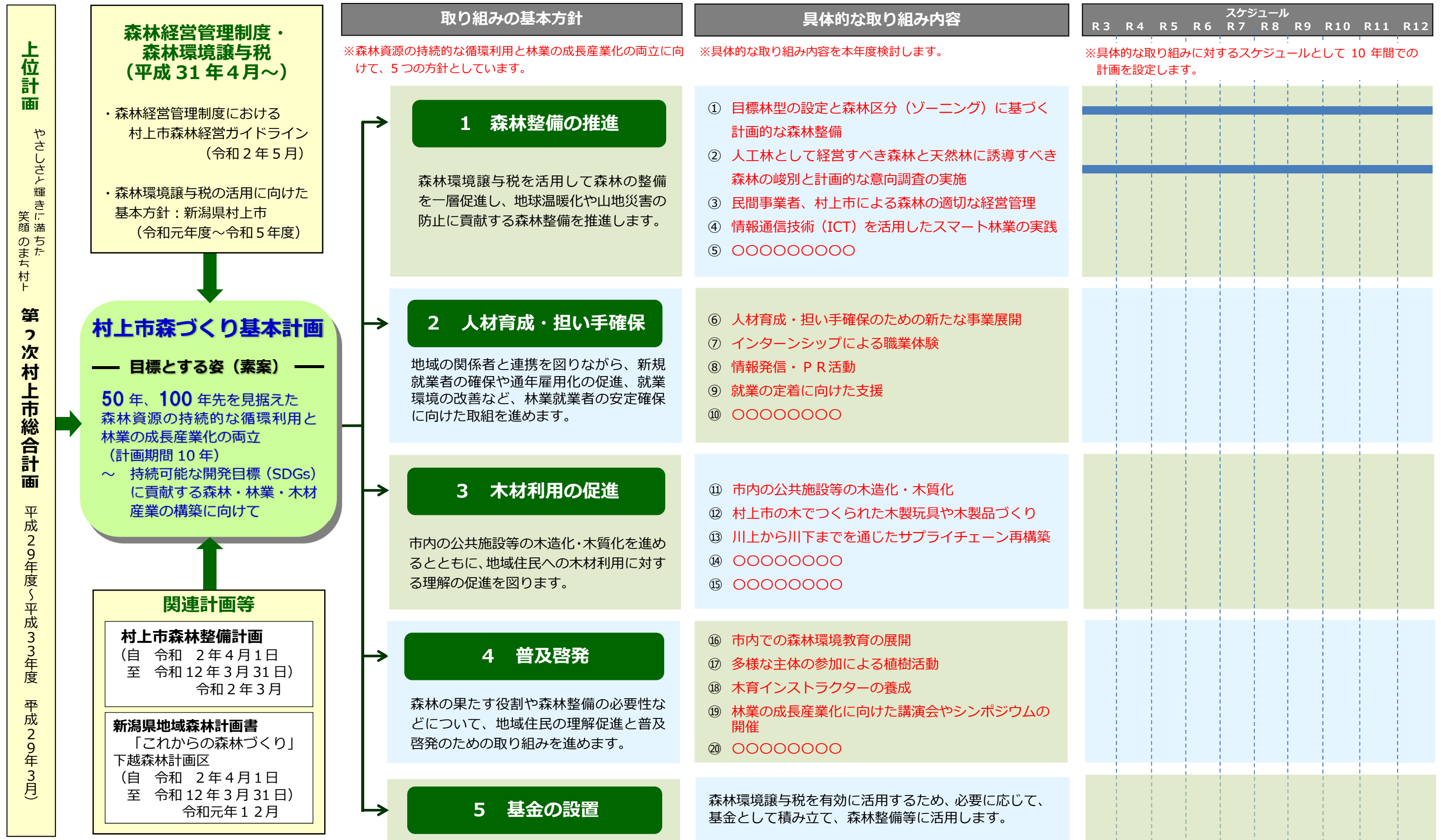
村上管内市町村別林業主要指標

(令和2年4月1日現在)

NO	項目	単位	村上市	関川村	粟島浦村	管内計	新潟県	シェア (%)	備考
1	総面積	ha	117,426	29,961	978	148,365	1,258,424	11.8	国土交通省国土地理院調(R元.10.1)
2	総人口	人	58,445	5,326	335	64,106	2,228,517	2.9	新潟県統計課(推計人口H31.4.1)
3	(人口密度1km ² 当たり)	人	(49.8)	(17.8)	(34.3)	(43.2)	(177.1)		総人口/総面積
4	林野面積	ha	99,994	26,249	840	127,083	856,620	14.8	新潟県地域森林計画書
5	(林野率)	(%)	(85.2)	(87.6)	(85.9)	(85.7)	(68.1)		林野面積/総面積
6	国有林面積	ha	46,784	19,738	0	66,522	291,480	22.8	新潟県地域森林計画書
7	民有林面積	ha	53,210	6,511	840	60,561	565,140	10.7	〃
8	(民有林率)	(%)	(53.2)	(24.8)	(100.0)	(47.7)	(66.0)		民有林面積/林野面積
9	民有林蓄積	千m ³	13,445	1,634	55	15,134	108,581	13.9	新潟県地域森林計画書
10	(民有林ha当たり蓄積)	(m ³)	(253)	(251)	(65)	(250)	(192)		民有林蓄積/民有林面積
11	民有保安林面積	ha	16,575	1,760	99	18,434	164,591	11.2	H30.3治山課森林保全係
12	(民有保安林率)	(%)	(31.2)	(27.0)	(11.8)	(30.4)	(29.1)		民有保安林面積/民有林面積
13	民有林人工林面積	ha	18,556	2,929	140	21,625	140,722	15.4	新潟県地域森林計画書
14	(人工林率)	(%)	(34.9)	(45.0)	(16.7)	(35.7)	(24.9)		民有林人工林面積/民有林面積
15	民有林林内道路延長	m	604,565	96,863	24,542	725,970	8,927,707	8.1	H31.3.31年度末民有林林道実績調べ(林政課)
16	(林内道路密度)	(m/ha)	(11.4)	(14.9)	(29.2)	(12.0)	(15.8)		〃
17	素材生産量(H30実績)	千m ³	60.1	11.2	0	71.3	175	40.7	H30市町村別素材生産量(確定値)
18	製材工場数	工場	12	1	0	13	185	7.0	新潟県木材業者・製材業者登録名簿(H29版一部修正) H30木材需給報告書
19	(1工場当たり出力数)	(kw)	(108.8)	(17.0)		(101.7)	(75.6)		〃
20	林家戸数	戸	1,947	264	54	2,265	27,105	8.4	2015農林業センサス(確定版)
21	林業経営体	経営体	595	36	0	631	1,931	32.7	〃
22	森林組合数	組合	2	1	0	3	22	13.6	新潟県内森林組合の現状 —平成30年度森林組合一斉調査結果—
23	森林組合員数	人	2,470	514	0	2,984	50,422	5.9	〃
24	生産森林組合数	組合	24	2	0	26	162	16.0	〃
25	県行造林・県営林面積	ha	276	58	0	334	5,538	6	新潟県営林事業経営計画書(H30～H34) 新潟県林政課調べ
26	生しいたけ生産量	t	17	177	0	194	2,626	7.4	平成30年特用林産物生産統計調査結果参考資料
27	林業粗生産額	千万円	42	22	0	65	1,057	6.1	※No.28+No.29の合計
28	木材生産額 (素材生産量から推計)	千万円	37	7	0	44	108	40.7	林業産出額(H30農林水産省)を 素材生産量調査データで按分
29	きのこ生産額 (生しい、なめこ、えのき、ひらたけ)	千万円	5	15	0	21	949	2.2	平成30年特用林産物生産統計調査結果 参考資料
参考	林業産出額	千万円	—	—	—	—	4,768	10.3	H30農林水産省 ※シェアは全国(順位:2位)
	木材生産額 (木材+薪炭)	千万円	—	—	—	—	109	0.5	H30農林水産省 ※シェアは全国(順位:36位)
	きのこ類生産額 (栽培+林野副産物)	千万円	—	—	—	—	4,659	20.1	H30農林水産省 ※シェアは全国(順位:2位)

※「村上地域振興局 管内林業の概要」〈令和2年度版〉(村上地域振興局農林振興部)より引用

【村上市森づくり基本計画の骨子（案）】



村上市森づくり基本計画策定までのスケジュール

